

事務事業名	市民バス整備事業	所属部	政策企画部	所属課	うなん暮らし推進課
政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち《定住環境》	所属G	定住・公共交通グループ	課長名	佐藤 尚子
施策名	〈13〉公共交通ネットワークの充実	担当者名	丹波 鉄也	電話番号	0854-40-1014
目的	公共交通機関利用者	意図	市内及び市外に向けて安全・便利に移動できる。	(内線)	2323
基本事業	〈036〉公共交通体系の確保	予算科目	0:1 1 0:0 2 0:5 7 5 0:9	大事業名	公共交通対策事業
目的	公共交通機関利用者	意図	公共交通機関を利用できる。	中事業名	市民バス整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
老朽化したバス車両	安全で計画的な運行を行うことができる車両に更新される。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H23 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	雲南市民バス事業を継続的に安全に行うために、計画的に車両の更新を行う。 (目安は、車両年数が12年(過疎対策事業償還年数)を経過あるいは走行距離が50万キロでの更新が望ましい) また、バス車庫、バス停待合所などの施設整備を行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・中型バス58人乗り 1台購入	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 車両更新について、冬季にも対応できるよう、マイクロ及び小型バスは4WD車両で更新している。各路線の利用状況を把握し、ダウンサイジングを図るなど適正な車両サイズになるよう努める。 また、バス車庫、バス停待合所の整備も必要に応じて実施している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 10年経過車両数(更新後)	台	4	5	4	5
イ 15年経過車両数(更新後)	台	5	4	4	3
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
合計 24,046千円 財源: 過疎債	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	10,700	23,300	23,000	35,400
	その他	千円				
手数料 121千円 自賠責保険料 12千円 車両購入費 23,864千円 公課費 49千円	一般財源	千円	510	2,165	1,046	401
	事業費計	千円	11,210	25,465	24,046	35,801

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	市民バス28台を保有しているが、更新の目安となる車齢が12年に近づいている車両や更新の目安を超過している購入後15年以上経過した車両も複数台ある。安全運行の観点からも年次の計画的にバス車両を更新する必要がある。計画的な車両の更新に伴い、修繕費の抑制にもつなげていきたい。
② 事業実施するうえでの課題	計画的な車両の更新を進めているが、購入後10年以上経過し走行距離も30万キロ～50万キロ以上となっている車両も複数台存在する。適切な修繕等を行い安全運行に細心の注意をはらっているが、今後、修繕では効かない故障の発生も懸念されるので、計画的な更新が必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	車両の適正台数や車両規模を考慮し、より計画的な車両更新を実施していく。